

学校自己評価システム取組状況調査報告書

平成27年度

県立学校評価委員会

学校名	埼玉県立深谷高等学校		Aグループ
項目	調査の観点	取組状況に関する所見	
目指す学校像	目指す学校像は、学校の現状、課題等を踏まえて設定されているか。	学力の向上と部活動の振興に重点を置き、学校としての目指す方向が示された学校像である。アンケートの対象や実施方法を工夫して保護者や地域からの新しいニーズを掘り起こすなど、学校内外の現状を広く把握・分析し、新たに自校の特色を創生する魅力ある学校像を掲げていただきたい。	
重点目標	学校が抱える課題の解決に向け、児童生徒の実態など学校の状況を踏まえて、目標の重点化が図られているか。	学校の取り組むべき方向が設定されている。やや網羅的かつ抽象的な目標となっているので、学校の直面する課題を検討・整理した上で、目指す学校像の検討と合わせて中期的な視点で重点目標を整理し、今後取り組まなければならないことを具体的に示した目標を設定することが望まれる。	
重点目標達成への取組	重点目標の達成に向けた組織体制が整備され、適切に機能しているか。	学校全体のシートに基づいて分掌・学年等のシートが作成されるなど、重点目標達成のための取組が進められている。分掌・学年間の連携を強め、評価項目や方策についてより具体的に検討・策定する体制を整備し、教職員全体の参画を促していただきたい。	
	方策は適切に策定され、効果的に実施されているか。	方策と評価指標を設定するに当たり、職員会議等で教職員間の共通理解が図られており、PTAとの連携も十分図られている。全体的に方策が前年踏襲型となっているので、現状と課題を分析し、選択と集中を図り、計画的に実施するとともに、取組指標と成果指標をうまく組み合わせるなどして、具体的でより判断しやすい指標となるよう検討することが望まれる。	
	校長の的確なリーダーシップの下、教職員が共通理解を深めながら組織的に取り組んでいるか。	校長は教職員の教育活動の状況を把握しており、組織力を高め、学校自己評価システムを生かした学校経営に取り組もうとしている。今後さらに的確なリーダーシップを発揮し、中期的なビジョンを示すとともに、様々なデータ等を示しながら課題の共通理解を図り、学校の強みを生かしながら全教職員で組織的な教育活動に取り組むことが期待される。	
	学校関係者評価等を踏まえて、達成状況や課題を検証し、取組の改善・更新が行われているか。	前年度の課題を次年度の目標・方策の設定に生かしている。学校関係者の意見を活用し、アンケートの実施方法等を工夫した上で詳細に分析し、新たな課題の析出や改善策の検討等、次年度のより具体的な取組につながるよう、スパイラルアップを進めていただきたい。	
特記事項			